

令和6年度 学校経営の目標について



次のとおり坂越中学校の教育方針を決定し、取り組んでまいります。

(校訓)
希 望
友 情
責 任

(めざす生徒像)
・共に伸びる生徒
・共に学ぶ生徒
・共に生きる生徒

(めざす教師像)
・感性豊かで創造的な教師
・常に夢と希望を持たせる教師
・自己研鑽に努め、使命感を自覚する教師



学校経営目標

「志を高く持ち、夢に向かって主体的に学ぶ生徒の育成」
～さわやかな「あいさつ」、あふれる「笑顔」、響く「歌声」～



基本方針

- (1) 子どもたちが、毎日「笑顔」で登校し、安心して生活できる学校・学級づくりを推進していくために、日々の「あいさつ」を大切にする。
- (2) 志を高く持ち、自分の夢（なりたい自分）に向け、主体的に学ぶ力を身に付けさせる。
- (3) 「ノーチャイム」という本校の伝統を継承し、生徒会活動と連携して「気づき・考え・行動」する生徒を育成する。

努力目標と実践項目

(1) 確かな学力を育成する。 <知>

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒同士の学び合いを通しながら、共に向上しようとする態度を育成する。
- ② 校内授業研究の充実や授業等相互自由参観の奨励を進め、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、「分かる授業」の創造をめざし、子供たちが主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ③ 授業改善を図りながら、各教科における基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ④ 家庭学習の定着や提出物等の習慣化を図り、学習規律の確立をめざす。

(2) 豊かな心を育成する。 <徳>

- ① 人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を基本とし、「自他の人権を守ろう」とする意識、意欲、態度を育成する。
- ② 「特別の教科 道徳」の研究と実施により、「人を思いやる心」「仲間とともによりよく生きる態度（人との絆）」を育てる道徳教育の推進を図る。
- ③ 体験的、実践的な活動を通して自立心や自律性、ルールやきまりを主体的に尊重する心や態度を育てる。
- ④ 赤穂特別支援学校との交流を通して、共に生きる心の教育を推進する。

(3) 健やかな体を育成する。 <体>

- ① 全教育活動を通じて体力の向上に努め、心身共に健康な体づくりを推進する。
- ② 6校園所での『早寝、早起き、朝ごはん』運動の習慣化を図る。
- ③ 栄養教諭と連携し、学校全体で健康教育を推進する。

(4) 新たな不登校を生み出さない、生徒に寄り添った支援を推進する。

- ① 「生徒指導提要」(文科省 令和4年12月)の学びを指導に活かす。
- ② 不登校傾向を示す生徒や保護者と積極的に関わり、関係機関と情報を密にしながら新たな不登校を生み出さない支援体制を構築する。

(5) 特別支援教育の充実を推進する。

- ① 教育支援委員会の充実を図り、系統立った一貫性のある指導体制を構築する。また、特別支援教育指導補助員と連携を図り、組織的な支援を推進する。
- ② インクルーシブ社会の実現へ向け、自立して社会参加できる教育をめざす。

(6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ① 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）とともに学校運営の充実に努める。
- ② 学校便りや各種通信を活用し、地域に積極的に情報を提供しながら特色ある教育活動を進める。
- ③ 地域体験活動、ボランティア活動等を通じて、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ④ 学校評価や前年度の総括から、PDCAサイクルを活かした学校運営の改善に努める。

(7) 安全安心な学校づくりを進める。

- ① 想定される危機事象に対して、教職員間で情報の共有を図り、早期発見・早期対応に努める。
- ② 関係機関と協力し、安全安心な学校づくりに全力で取り組む。

